

平成31年度 東京都立三鷹中等教育学校 学校経営報告

校長 藤野 泰郎

1 本年度の総括

平成31年度は、「6年間の中高一貫教育を通して、他者を思いやることのできる豊かな心を持ち、「胸は祖国に置き、眼は世界に注ぐ」の精神の下、国際社会で日本の良さを語り、人間性豊かな社会を構築する「思いやり・人間愛（ヒューマニティ）を持った社会的リーダー」の育成を図る」ことを引き続き基本理念として掲げるなか、創立10周年を迎え、これまでの教育活動の成果と課題を総括するとともに、今後の学校経営における充実・改善点についても検討してきた。

東京都教育委員会の施策・事業を最大限に活用し、予算措置や物的支援を受け、目的を明確にした教育活動が実践されるよう、組織的に取り組むことができた。一方、ICT機器の活用などによる働き方改革等の職場改善も一層推進することができた。次年度以降も今年度の経営報告をもとに学校が常に発展できるよう、教職員一人一人が力を発揮し、一枚岩になって改善に取り組むことが求められる。

2 本年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

①6年間を見通した教育課程の編成と特色ある教育を推進する。（学習指導）

→ICTパイロット校としての研究活動を通して、ICT機器を活用した反転授業や、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を積極的に導入し、生徒の理解の浸透を促進した。

②将来の在り方・生き方を見据えた、系統的・継続的キャリア教育を行う。（進路指導）

→セカンドステージの指導計画を大きく改善し、生徒の学ぶ意欲を引き出すとともに、高度な学問研究に魅力を感じさせ、学術的論考として論文集を作成させた。

③規範意識を高め、発達段階に応じた生活指導を充実させ、心身の健康維持も図る。（生活指導）

→時間を守ること、挨拶の励行、礼儀正しい態度や身だしなみ、集団生活でのマナーを身に付けさせること、場を清めることなど、きめの細かい生活指導を通して、基本的生活習慣の一層の確立に努めた。

④地域や日本を理解する教育活動を充実させる。（特別活動・部活動・地域交流・健康づくり）

→第3学年の研修旅行において、日本の伝統・文化や自然環境の良さを確実に認識させるとともに、ICT機器を活用し、その良さを国際社会に発信できる能力を身に付けさせた。

⑤国際理解教育を推進し、グローバルな視野の育成を図る。（国際理解教育）

→第5学年の海外修学旅行において、SDGsをテーマとした「日台高校生サミット」を実施し、国や地域を超え、グローバルな視点から課題解決に取り組もうとする意識と態度を育んだ。

⑥ICT機器を活用した幅広い教育活動を展開する。（授業改善）

→ICTパイロット校としての研究活動を通して、ICT機器を活用した各教科・科目における反転授業の導入や臨時休業期間中における家庭学習の充実に努めた。

⑦持続可能な社会づくりに向けた教育・活動を推進する。（学校経営・教職員のライフ・ワーク・バランス）

→企画調整会議及び職員会議の完全なペーパーレス化を実現するとともに、業務の効率化に繋げた。

⑧校内組織体制を充実する。（学校経営）

→主幹経営会議を確実に開催するとともに、会議体としての機能を強化することで、主幹教諭の経営参画意識を向上させた。

3 指導の重点目標と具体的取組の成果

(1) 31年度の重点目標

①学習指導

(ア)前期課程の月曜補習は15講座以上開講し、年間18週以上実施する。

- (イ) 後期課程の放課後補習は、年間20週以上実施する。
- (ウ) 前期課程及び第5学年では、夏季休業日中に1週間の補習週間（20時間）を実施する。また、第6学年を中心とした講習・補習講座を各長期休業日中に合計100講座以上実施する。さらに、第4学年では夏季休業日中、第5学年では冬季休業日中に2泊3日の勉強合宿を実施する。
- (エ) 校内研修会を年間2回以上、授業研究を年間12回以上実施する。
- (オ) 年間18回以上の授業公開と年間1回の道徳授業地区公開講座を実施する。

②生活指導・生徒相談活動

- (ア) 部活動加入率を90%以上とする。
- (イ) セーフティ教室を年間2回、安全指導を年間12回（避難訓練・防災訓練4回を含む）実施する。
- (ウ) 生徒相談連絡会を年間4回実施する。
- (エ) 学校事故発生件数0を目指す。
- (オ) 自殺予防対策として、専門的知識を身に付け、生徒のサインを見逃さないようにするため、専門家を講師として招聘した校内研修を年間1回以上実施する（SOSの出し方に関する教育推進）。また、企画調整会議（職員会議も同様）において管理職からSOSの出し方に関する教育を推進する内容の情報提供を行う。

③進路指導

- (ア) センター試験実受験者を98.0%以上とする。
- (イ) 難関国立大学志望生徒のグループを形成して受験対策を行い、合格者を8人以上とする。また、国公立大学合格者を現役40人以上とする。
- (ウ) 難関私立大学（早稲田・慶應・上智・東京理科）志望生徒のグループを形成して受験対策を行い、合格者を現役70人以上とする。
- (エ) GMARCH（学習院・明治・青山・立教・中央・法政）合格者を、現役100人以上とする。
- (オ) 第6学年についてケース会議を年3回実施するとともに、後期課程における模擬試験を実施する。
- (カ) ファースト、セカンド、サードステージの各発表会を、ICT等を活用し、それぞれ年1回開催するとともに、全員の論文を冊子にまとめ発表する。
- (キ) 第3、4学年において、学年による大学訪問をそれぞれ年1回実施するとともに、夏季休業日中にオープン・キャンパス訪問を行う。
- (ク) 延べ60社以上の事業所と連携し、第1学年で職場見学、第2学年で職場体験をそれぞれ年1回実施する。第2学年においては、職場体験とSDGsについて考察したステージ論文とについて発表会を開催する。

④募集対策

- (ア) 学校見学会・学校説明会への参加者を延べ5,000人、授業公開への参加者を延べ1,800人以上とする。
- (イ) 授業公開の土曜日におけるミニ学校説明会を年10回実施する。
- (ウ) 応募倍率を6.0倍以上とする。
- (エ) 適性検査の解説会を年1回以上開催する。

⑤グローバル人材の育成

- (ア) 海外高校生等を招いての国際交流を年3回以上実施する。
- (イ) 校内留学を冬季・春季休業日中にそれぞれ3日間実施し、参加生徒を60人以上確保する。
- (ウ) 海外ボランティア研修を春季休業日中にアメリカ合衆国において実施し、参加生徒を45人以上確保する。
- (エ) 第5学年において海外修学旅行を実施し、海外における学校交流を1日実施する。
- (オ) 「東京グローバル10」として英語力の向上を図り、前期課程修了時点における英検準2級以上の取得率を70%以上とする。
- (カ) 後期課程は、全員GTEC（Advanced）4技能試験を受験させ、第4学年修了時にCEFR-JにおいてB1-1が60%、第5学年修了時にB1-2が60%、第6学年卒業時ではB1-2が70%に到達させる。
- (キ) 海外姉妹校2校との交流の一環として、台湾からの短期ステイを実現する。
- (ク) 海外からの留学生（大学・大学院生）に、日本の伝統・文化や歴史について英語で説明しながら東京を散策

する東京グローバル遠足を、第6学年の学年行事として実施する。

⑥その他（特色ある教育活動、指定校・推進校の取組）

基本計画に則り、教育活動の特色化を図るとともに、東京都教育委員会事業の成果を検証する。

- (ア) 朝読書を毎日実施し、生徒一人当たりの年間読書冊数を最低25冊以上とするとともに、図書館における図書の間貸出冊数を9,000冊以上とする。
- (イ) ICTパイロット校事業最終成果報告会を実施する。その際、教科ごとに反転授業の指導結果報告を一つ以上作成し、個人では、昨年度の授業案を発展させた内容の報告を行い、冊子として刊行する。
- (ウ) 主権者教育充実のため、模擬選挙（第3学年「社会」）、憲法出前授業・税務教室・模擬裁判員体験・財務教育プログラム（第4学年「文化科学Ⅱ」）などの特別授業を、弁護士会・税務署・財務省など外部機関と連携し、それぞれ年1回実施する。
- (エ) 言語能力の更なる向上を図るため、書評合戦（第1学年「文化科学Ⅰ」、第4学年「国語総合」）を実施し、上部大会に出場する。
- (オ) 日本の伝統・文化継承の一環として、江戸時代の「算額」や統計の基本を学ぶ。（第2学年「自然科学Ⅰ」）
- (カ) 理数教育研究校として地域資源を活用し、科学的思考を醸成する機会を設け、多様な進路に対応するとともに科学の祭典において上位に入賞する。（地域企業、JAXA等との連携）
- (キ) キャリア教育充実のため、第1・2学年（ファーストステージ）において職場体験とSDGsについて考察したこと、第3・4学年（セカンドステージ）において学術的な初歩研究、第5・6学年（サードステージ）において進路決定（未来構想図）に関する論文を作成するとともに発表会を実施し、全生徒の論文を冊子として記録・保存する。（全学年「人生設計学（総合的な学習・探究の時間）」）
- (ク) 持続可能な社会づくりに向けた教育・活動を推進するため、スポンサード・ウォークとして、「拜島」駅から本校まで、歴史や環境問題等を考えながら歩き、自ら課した目標の達成感を味わわせるとともに、体力の向上を図る。完歩した際は事前に契約を結んだスポンサー（保護者等）から募金を受け取り、慈善活動団体等に寄付するチャリティー活動に取り組む。（第3学年 学年行事）
- (ケ) オリンピック・パラリンピック教育を充実させ、特にパラスポーツを通して特別支援学校との連携を深め、共生社会の実現に向けたボランティアマインドの醸成を図る。（年3回）
- (コ) 若手教員を中心に、授業や特別活動、分掌業務に関する2人一組のOJTを、3組以上実施する。
- (サ) 会議に関する負担を減少させるため、タブレットPCを活用し、企画調整会議、職員会議ほか全ての会議をペーパーレス化するとともに電子起案を推進する。（「ICTパイロット校」）
- (シ) 管理職は年10日以上、教員は年5日以上、年次有給休暇を率先して取得することでライフ・ワーク・バランスの取組を推進する。
- (ス) 長期休業日中等に、全ての教職員が完全休養する学校閉庁日を5日以上設ける。（週休日及び年末年始の閉庁日を除く）

(2) 具体的取組の成果と課題（*3月の臨時休業の影響あり）

項番	項目	目標数値	結果数値
①	(ア) 前期課程の月曜補習	15講座以上開講、年18週以上実施	18講座開講、17週実施
	(イ) 後期課程の放課後補習	年間20週以上実施	補習・補講20週実施
	(ウ) 前期課程及び第5学年の補習 第6学年を中心とした講習・補習講座 第4学年・第5学年の勉強合宿 (2泊3日)	夏季休業日中1週間の補習週間(20時間)実施 長期休業日中に合計100講座以上実施 長期休業中実施	20時間実施 夏期講習30・3、冬期講習11・2 4年:7月、5年:12月
	(エ) 校内研修会 授業研究	年間2回以上 年間12回以上	新学習指導要領移行措置1回、観点別学習状況評価1回 初任研6回、中堅研6回
	(オ) 授業公開 道徳授業地区公開講座	年間18回以上 年間1回	18回 1回
②	(ア) 部活動加入率	90%以上	95.5%
	(イ) セーフティ教室 安全指導	年間2回 年間12回(避難訓練・防災訓練4回を含む)	年間2回 年間10回
	(ウ) 生徒相談連絡会	年間4回	年間3回
	(エ) 学校事故発生件数	0件	0件
	(オ) 自殺予防対策	専門家の講師による校内研修を年間1回以上	年間1回
③	(ア) センター試験実受験者	98.0%以上	98.7%

	(イ)	現役難関国立大学合格者 現役国公立大学合格者	8人以上 40人以上	2人 31人
	(ロ)	現役難関私立大学合格者	70人以上	34人
	(エ)	現役GMARCH合格者	100人以上	101人
	(オ)	第6学年ケース会議 後期課程における模擬試験	年3回 進路指導計画に基づき実施	年3回 4年：5回、5年：7回、6年：6回
	(カ)	各ステージ論文作成・発表 (⑥(キ)同様)	各1回	ファースト：1月、セカンド：2月、 サード：4月
	(キ)	第3、4学年大学訪問 夏季休業日中のオープン・キャンパス 訪問	年1回 1回以上	3年：多摩地区国立大学合同説明会 3年：夏季休業日中に実施・報告者作成
	(ク)	第1学年職場見学 第2学年職場体験	延べ60社以上の事業所連携 職場見学・体験各年1回 職場体験発表会	延べ54事業所と連携 職場見学：11月、職場体験：11月 職場体験発表会：1月
④	(ア)	学校見学会・学校説明会参加者数 授業公開参加者数	延べ5,000人以上 延べ1,800人以上	延べ4,276人 延べ2,052人
	(イ)	ミニ学校説明会	授業公開の土曜日10回以上	18回
	(ロ)	応募倍率	6.0倍以上	5.69倍
	(エ)	適性検査解説会	年1回以上	4回
⑤	(ア)	海外高校生等招聘による国際交流	年3回以上	4回
	(イ)	校内留学	冬季・春季休業日中にそれぞれ3日間実施 参加生徒60人以上	冬季休業日中：3日間実施 春季休業日中：中止
	(ロ)	海外ボランティア研修	春季休業日中アメリカ合衆国にて実施 参加生徒45人以上	中止
	(エ)	第5学年海外修学旅行	海外における学校交流1日	日台高校生サミット実施
	(オ)	英検準2級以上の取得率 (前期課程修了時)	70%以上	65%
	(カ)	後期課程、全員GTEC (Advanced) 4技能試験の受験 (CEFR-Jに換算)	第4学年修了時 B1-1：60% 第5学年修了時 B1-2：60% 第6学年卒業時 B1-2：70%	4年：27% 5年：14% 6年：24%
	(キ)	姉妹校交流の充実	短期ステイ3人	中止
	(ク)	東京グローバル遠足	第6学年実施	第6学年実施
⑥	(ア)	朝読書 図書館年間貸出冊数	毎日実施・1年間25冊以上 9,000冊以上	毎日実施 8,520冊
	(イ)	ICTパイロット校事業最終成果報告会	各教科：反転授業1実践報告 各教員：昨年度授業案を改善した実践報告	成果報告会：11月 指導事例集作成：3月
	(ロ)	模擬選挙(第3学年「社会」) 憲法出前授業・模擬裁判員体験 (第4学年「文化科学Ⅱ」) 税務教室(第4学年「文化科学Ⅱ」) 財務教育プログラム (第4学年「文化科学Ⅱ」)	三鷹市選挙管理委員会と連携 東京弁護士会と連携 税理士会と連携 財務省と連携	模擬選挙：1月 憲法出前授業：7月 模擬裁判員体験：中止 税務教室：12月 財務教育プログラム：11月
	(エ)	書評合戦(第1学年「文化科学Ⅰ」、 第4学年「国語総合」)	全国高校ビブリオバトル出場 全国中学ビブリオバトル出場	全国高校ビブリオバトル出場 全国中学ビブリオバトル出場
	(オ)	「算額」(第2学年「自然科学Ⅰ」)	コンテスト出品上位入賞	銀賞(2位)受賞
	(カ)	科学的思考力の向上	JAXA等との連携による特別講座年1回以上 科学の祭典10位以内入賞	JAXAとの連携による特別講座1回 筑波サイエンスツアー1回 科学の祭典13位
	(キ)	キャリア教育の充実・ステージ論文作成	第1・2学年(ファーストステージ) 職場体験とSDGsについて考察 第3・4学年(セカンドステージ) 学術的な初歩研究 第5・6学年(サードステージ) 進路決定(未来構想図) 全ステージ全員分の論文集作成	ファーストステージ 論文発表会実施、論文集作成 セカンドステージ 論文発表会実施、論文集作成 サードステージ 論文発表会実施、論文集作成
	(ク)	スポンサード・ウォーク (第3学年実施)	全員完歩・寄付金納付	中止
	(ケ)	オリンピック・パラリンピック教育推進	特別支援学校との連携年3回	年3回
	(コ)	業務改善OJT	3組6人実施	3組6人実施
	(サ)	ペーパーレス会議・電子起案	年間実施(A4判26万枚削減)	年間実施(A4判15万枚削減)
	(シ)	年次有給休暇取得	管理職10日以上・教職員5日以上	管理職平均6日・教職員平均18日
	(ス)	学校閉庁日	長期休業中等に5日間設定	長期休業中等に5日間設定